

第1回 日本気象協会メセナ 講演会(入場無料)

激化する 気象現象と災害

気象という地球からのメッセージを解き明かし防災・減災のあり方を考える

近年激化する気象災害の発生メカニズムを紹介し、防災・減災に向けた活動を検証するとともに、今後のあり方を展望します。

本講演会は、国内外をリードする研究者の講演を通して、広く社会基盤整備に資する気象・防災知識の普及を目指すものです。

日時 2010年**3月19日(金)** 13:30~17:15 (12:45 開場)

会場 東京国際フォーラム D7ホール

東京都千代田区丸の内 3-5-1

※有楽町駅から徒歩1分(出口D5地下1階コンコース直結)、
東京駅から徒歩5分(京葉線東京駅地下1階コンコース直結)

講演1 気候変動と気象災害

13:35~14:20

地球レベルでの温暖化、渇水、台風多発など、最近の気候変動と気象現象の実態、今後の予想について紹介する。

東京大学生産技術研究所 教授 沖 大幹

講演2 激化する都市型気象災害と防災に向けた社会基盤整備

14:20~15:05

各地の局地的集中豪雨や竜巻の頻発などの昨今の日本における気象現象と災害の傾向、観測と予測に向けた国内の活動、防災に向けた社会基盤整備などについて、今後の展望を含めて解説する。

独立行政法人 防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部長 真木 雅之

講演3 住民避難行動を考慮した災害情報の伝達のあり方

15:20~16:05

防災に最も重要な「災害情報」を市民の避難活動に結びつけるため、災害時の住民心理を考慮に入れ開発された避難行動モデルや地域活動の紹介を行い、災害に効力を持つ災害情報提供のあり方について提言を行う。

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 教授 堀 智晴

講演4 防災情報提供に関する民間気象事業者への期待

16:05~16:50

国・自治体が災害情報を提供する中で、民間気象事業者が担うべき役割ときめ細やかな情報への期待も含めて、今後の防災情報提供のあるべき姿への提言を行う。

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 特定教授 鈴木 靖

・本講演会は土木学会 CPD 認定プログラム(認定番号 JSCE09-0764、3.5 単位)です。

主催：一般財団法人 日本気象協会

<http://www.jwa.or.jp/>

後援：気象庁、社団法人 日本技術士会



第1回 日本気象協会メセナ 講演会 (入場無料)

「激化する気象現象と災害」参加登録

参加をご希望される方は、以下の必要事項をご記入いただき FAX で送信してください。

登録受け付けは、3月16日までとさせていただきます。

先着順となりますので、定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

所属機関名・部署等 <small>※個人の方はご記入不要です。</small>		
連絡先 <small>※必ずご記入ください。 複数の場合は、代表者の連絡先をご記入ください。</small>	ご住所	
	TEL	
氏名 <small>※複数の場合は代表者を1にご記入ください。</small>	1	<small>ふりがな</small> <div style="text-align: right;">E-mail</div>
	2	<small>ふりがな</small> <div style="text-align: right;">E-mail</div>
	3	<small>ふりがな</small> <div style="text-align: right;">E-mail</div>
	4	<small>ふりがな</small> <div style="text-align: right;">E-mail</div>
	5	<small>ふりがな</small> <div style="text-align: right;">E-mail</div>

FAX 番号

お間違えないよう、ご注意ください。

03-5958-8113

個人情報の取扱について

- 利用目的
 本参加申し込みでご連絡いただいた個人情報は、本講演会に関する事務以外には使用いたしません。
- 第三者への提供
 本参加申し込みでご連絡いただいた個人情報は、第三者への提供は行いません。
- 取得した情報の取り扱い担当
 一般財団法人 日本気象協会 管理本部 管理部 事業課
 Tel : 03-5958-8165、Fax : 03-5958-8113

主 催：一般財団法人 日本気象協会
<http://www.jwa.or.jp/>

後 援：気象庁、社団法人 日本技術士会